



報道関係各位

令和5年5月11日(木)



【継承×交流】

後鳥羽院遷幸八百年記念事業

「絵本 後鳥羽上皇物語」発行

海士町長(大江和彦)が委員長を務める後鳥羽院顕彰事業実行委員会では、後鳥羽院遷幸八百年記念事業として今年2月、「絵本 後鳥羽上皇物語」を発行いたしました。

海士町の歴史を語るうえで、隠岐と後鳥羽上皇の伝承は他所にはない大きなテーマ。これを学ぶための資料として学校教育でも活用できるように後鳥羽院遷幸800年を機に作成しました。

■隠岐と後鳥羽上皇の伝承を入口として

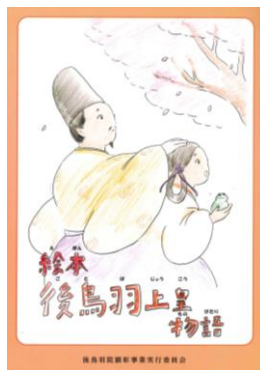
承久3年(1221)、後鳥羽院により発せられた鎌倉幕府の執権・北条義時追討の院宣に端を発する「承久の乱」。この戦いに朝廷方が敗れたことにより、後鳥羽院は海士にお遷りになりました。院がお遷りになられてから令和3年(2021)で800年となりました。

海士町には院に由緒を持つ、たくさんの伝承と文化が、伝えられています。また、後鳥羽上皇を祀る隠岐神社があり、町の人にとって上皇はシンボルです。遷幸八百年を機に後鳥羽院顕彰事業実行委員会では上皇の資料をまとめた子ども向けの本を作る意見が出されました。そこで地域の歴史文化を継承するための教材作りを目指す「島本(しまぼん)の会」(代表・村尾茂樹)が結成され、最初の作品として編集しました。

内容は、前半は小学生の調べ学習の入口にもなるよう隠岐神社の紙芝居をもとに上皇の生涯を絵本にし、後半は上皇の時代や文化、全国のゆかりの地などを掲載した資料編となっています。

海士町教育委員会の学芸員・水谷憲二さんが編集し、絵本の絵は海士町出身の榊原有紀さん(海士町後鳥羽院資料館勤務)によるもので、日本の中世史研究で活躍されている長村祥知先生(富山大学学術研究部人文科学系講師)に監修を依頼し最新の研究成果を反映させています。

日本史的に根拠がある史実はもちろんのこと、海士町をはじめ様々なご当地伝承も加えています。隠岐と後鳥羽院の伝承を入口として、地域の歴史を学ぶことの楽しさ、歴史と私たちがつながっていることなどを感じてもらいたいと思います。本書は町内全戸と小中学生に無償配布しました。



■後鳥羽院顕彰事業公式ホームページ
https://www.gotobain-kensyo.com/



HPのQRコード

海士町政指針

自立・挑戦・交流×継承・団結

～海士らしく みんなでしゃぼる(引っ張る)承前啓後の島づくり～

海士町らしい価値観

「ないものはない」(なくてもよい、大事なことはすべてここにある)



■詳細のお問い合わせ窓口

後鳥羽院顕彰事業実行委員会(田中)

【Mail】gotobain.info@gmail.com

【Tel】08514-2-1221

(海士町教育委員会内)

ご取材よろしくお願ひ申し上げます。